



埴工進路だより

2020.1.15 (第6号)

“社会人”としての基本心得

〈就職〉内定の皆さん

『内定』を頂いたということですから安心してはいませんか！？普段、やるべきことをしっかりとやり、目の前の一つ一つのことをきちんと仕上げるのが大切。授業中の居眠りなどもっての外。停滞からは決して何も生まれません。

1カ月半後に卒業を控えたこの時期、社会人として求められる能力について確認してみましょう。

『社会人の基礎力』

経済産業省は「職場や地域社会の中で多様な人々と共に仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力」として「3つの能力」を取り上げ、更にそれに関する「12の能力要素」を指摘しています。



3つの能力 + 12の能力要素

前に踏み出す力(アクション) + 主体性 / 働きかける力 / 実行力

考え抜く力(シンキング) + 課題発見力 / 計画力 / 創造力

チームで働く力(チームワーク) + 発信力 / 傾聴力 / 柔軟性 / 状況把握力
規律性 / ストレスコントロール力

『12の能力要素』のいくつかについて、具体的にどんな力なのかを見てみましょう。

- 主体性 …変化に前向きに対処する力・範囲を限定せずに主体的に動く力
- 働きかける力 …多様な人たちとのつながる力・相手との壁を越えて多様性を活かす対話力
- 実行力 …詰める力・やり切る力・チャレンジする力
- 課題発見力 …考え抜く力・問題発見能力・見えないものが見える力
- 計画力 …高い倫理観を持って正しい選択をする力・詰める力・未来を予想する力
- *この2つはつながっていて、課題を発見できるからこそ、その課題の解決に向けたプランを練ることができるのです。
- 傾聴力 …相手の意見を丁寧に聴く力
- 柔軟性 …変化に前向きに対処し、学び取る力
- 状況把握力 …自分と周囲の人々や物事との関連性を理解する力
- ストレスコントロール力 …ストレスにうまく対処する力



ストレスコントロール力について

ストレスに耐えるのではなく、ストレスを自分なりに受け止め、前向きにどう捉えていくかという心構えが肝心です。

仕事をしていれば、多かれ少なかれ、誰しも失敗はするものです。大事なことは、失敗したことをいつまでも引きずらないこと。そして、そのミスから何かを学び、学んだことを次の仕事に生かそうとする積極的な気持ちです。



T君(メーター製造の会社)

○会社を選んだきっかけ

生活で欠かせないガスや水道のメーターを作っていると知り、是非ともこの仕事に就きたいと思いました。

○高校3年間で本気で取り組んだこと

資格取得と部活動です。

○後輩へのメッセージ

高校3年間で後悔しないように学業や部活動、様々な資格試験、検定試験などにチャレンジし充実した高校生活を送って下さい。

Y君(自動車製造の会社)

○会社を選んだきっかけ

機械技術、車が好きだから。誰も行ったことがなかったので、挑戦してみたかった。技術が優れているので魅力を感じた。

○内定をもらうために努力をしたこと

企業情報（過去に受けてない）がないので情報収集をした。（数学 面積計算など）企業の求める存在になれるよう努力をした。

○就職試験のこと

なぜ華道部なのか詳しく聞かれた。

○後輩へのメッセージ

将来、どんな職業に就きたいかを明確にし、進路実現をできるよう努力をする。先生方も本人のやる気次第で本気で協力してくれます。最後まで諦めず、進路活動に取り組んでください。必ず進路実現ができると思います。

I君(鉄道輸送業の会社)

○会社を選んだきっかけ

小さいころから鉄道に興味があり、将来は鉄道関係の仕事をしたと思っていました。親戚の家から会社が近いのも選ぶきっかけになりました。

○内定をもらうために努力をしたこと

接客が大事なので、そのことを踏まえ面接練習を先生方にやっていただきました。合格するために何度も面接練習をしました。SPIの問題を解くことにも力を入れました。

○後輩へのメッセージ

素直になり、本当にやってみたい会社をみつけてください。

***〈目標〉**に到達するためのひとつのコツは自分にとって少し厳しいレベルを設定し、そこへの到達を目指すことです。地道に努力を重ねることで自分が進むべき道をしっかりと見い出した頼もしい先輩を見習い、皆さんも是非とも後に続けましょう！